

入出金ガイド

入金5つの方法と、出金のルール・手順・日数。「どの方法で入れると、どう出せるか」まで1冊で分かるように作ってあります。手順はEBC公式ヘルプセンターの最新記事（2026年9月22日更新分まで）にもとづきます。

FCバルセロナ オフィシャルパートナー

提携はEBCの事業活動を示すもので、取引の成果や資金の安全を保証するものではありません。

入金 —— 5つの方法を先に比べる

EBC側の入出金手数料はすべて無料（銀行・サービス側の手数料はお客様負担）

方法	通貨・金額	反映の目安	向いている方・ポイント
国内銀行振込	日本円で振込 → USD口座に換算して反映。受付は日本時間 10:00～翌1:00 。最低・最高額は入金画面の表示が正	2時間以内	いちばん多く使われる方法 。ネットバンキングから振り込むだけ。振込先は毎回変わるので、画面の最新表示を「コピー」して使う。出金も同じ名義の国内銀行口座へ（→2ページ）
クレジット／デビットカード	Mastercardのみ （Visa・AMEX不可） 50～5,000 USD	30分以内	すぐ入れたい方。3Dセキュア必須。 初回だけカード両面の写真を提出 。出金は 入金額まで で、利益分は別の方法（→3ページ）
Eウォレット（Peska）	日本円で入金 → USDで反映。Peskaの口座（本人確認・住所証明済み）が必要	通常 数分	日本円で出し入れしたい方。 利益分を日本円で受け取る近道 。出金はPeska側で月1回無料、2回目以降0.2%（→3ページ）
暗号資産 USDT／USDC	USDT（ERC20／TRC20）、USDC（ERC20）。最低額は画面表示が正	承認後 数分～30分	暗号資産を使い慣れた方。 国内取引所はUSDTを扱っていないので 、海外取引所を経由する（→4ページ）
国際電信送金	USD建て 1,000～200,000 USD	3～5営業日	大口の方。銀行手数料がかかり日数も長い。Wiseからの送金は不可（→4ページ）

入金は24時間365日受け付けます（処理・反映は営業日）。**入金はご本人名義の口座・カード・ウォレットからのみ**。ご家族や第三者名義からの入金は返金され、確認が済むまで口座が凍結されることがあります。取引口座の名義が共同名義の場合は、共同名義人の口座からの入金は受け付けられます。

出金 —— 先に知っておく6つのルール

ここを知らないと「出金が拒否された」と感じる原因になります

1 入金と同じ方法で出す

元本（入金した金額）は、**入金したときと同じ方法・同じ名義の口座**にしか出せません（ファーストイン・ファーストアウト）。利益分だけは、カード以外の好きな方法で出せます。

2 本人名義だけ

出金先は必ずご本人名義の銀行口座・ウォレット・暗号資産アドレス。第三者名義への出金はできません。

3 最低出金額がある

国内銀行振込 **700 USD**／カード 100 USD／Peska 50 USD／USDT・USDC 50 USD／国際電信送金 1,000 USD（上限100,000 USD）。

4 平日17時が区切り

日本時間 **平日17:00までの申請は最短で当日中**に処理、17時以降は翌営業日。申請後、その金額は口座内で凍結され、確認完了後 **1～7営業日**で着金します（方法別の目安は5ページ）。

5 ポジションを持ったままなら維持率に条件

未決済ポジションがある場合、**出金後も証拠金維持率が200%超**である必要があります。**週末（金曜の引け後～月曜）は400%以上**。内部振替にも同じ条件がかかります。安全なのは全部決済してから出すことです。

6 2回目は1回目が終わってから

1回目の出金申請が処理される前に、2回目の申請はできません。急ぐ場合はまとめて1回で申請します。

おすすめの始め方 —— 少額で「入金 → 出金」を一周する

最初は少額を入金し、取引したら少額を出金するところまで試してみてください。ご自身の銀行で何営業日かかるかが分かり、あとで大きな金額を動かすときの不安がなくなります。

迷ったら国内銀行振込。日本円で入れて日本円で受け取り、EBC側の手数料はゼロです。ただし最低出金額が700 USDと高めなので、少額でお試しするならPeskaかカード（元本分のみ）が向いています。

先にお伝えしておきたいこと

- EBCは日本の金融庁の登録を受けた金融商品取引業者ではありません。海外当局のライセンスのもとで運営しており、国内業者向けの投資者保護の枠組みは適用されません。
- 口座はUSD建てです。日本円で入出金すると、**そのときの為替レートで換算**されます。同じ額を入れて出しても、レートの差で受取額が変わります。
- 画面の項目名や最低額は更新で変わります。**迷ったら、お手元の画面の表示が正です**。

入金の手順 受付：日本時間 10:00～翌1:00／反映：2時間以内

- 1 マイページにログイン → 「資産状況」 → 「入金」
「銀行振込」を選びます。受付時間外は、この選択肢そのものが表示されません。
- 2 入金先の取引口座と金額（USD）を入力して「入金する」
例：1,200 USDと入力すると、日本円の振込額が次の画面で示されます。
- 3 口座名義人の氏名・メールアドレス・電話番号を入力
氏名は必ずカタカナで。「確認」を押します。
- 4 表示された振込先を「コピー」して、ネットバンキングから振り込む
受取銀行・支店名・受取人名・口座番号・金額の5つ。振込先はその時々で変わるので、前回の振込先を使い回さないでください。画面右上のカウントダウン内に振込を終える必要があります。
- 5 振込先の画面をスクリーンショットで保存
公式サイトが「必ず」と案内している手順です。反映が遅れたときに、これを送ります。
- 6 振込が終わったら、画面下の「お支払いを確認」を押す
「お支払いを処理しています」と出たら、タブを閉じて構いません。
- 7 「資産状況」 → 「資金の詳細」 → 「資金履歴」で反映を確認
注文番号（DP で始まる）のステータスが「完了」になれば取引口座に入っています。

つまずきポイント

- ・ カウントダウンが切れた／振込先の画面を閉じてしまった：その申請は無効です。もう一度「入金」から申請し、新しい振込先に振り込みます。古い振込先に振り込むと反映されません。
- ・ 2時間たっても反映されない：振込明細（氏名・入金先・金額・日時が分かるもの）とDPで始まる注文番号を添えて、EBC公式LINEまたはcs.jp@ebc.com へ。
- ・ 名義が違う：振込名義がマイページの登録名義と違うと処理されません。ご家族の口座からの振込も不可です。
- ・ 金額が違う：申請した金額と振込額が違っていると確認に時間がかかります。手数料を差し引かれる場合は、振込側で「手数料は振込人負担」にします。

出金の手順 平日17時まで当日処理／着金1～7営業日

- 1 マイページ → 「資金状況」 → 「出金」 → 「銀行振込」
- 2 初回は「新しい銀行カードを追加する」で受取口座を登録
受取銀行住所は「日本」。銀行名はプルダウンから（無い場合は担当者かcs.jp@ebc.com へ）。支店名を入力。名義人はマイページ登録のお名前をカタカナで。口座番号を入れて「次へ」。
- 3 認証コードを入力して受取口座を保存
登録済みの携帯電話番号（SMS）またはログインパスワードで認証します。右側の「設定」から削除・編集もできます。
- 4 出金元の取引口座・受取口座・出金額（USD）を選んで、メールまたは電話で認証 → 「申請書を提出する」
- 5 「資金の詳細」で WD で始まる注文番号を確認
着金すると「送金済み」に変わります。

この方法のポイント

最低出金額	700 USD（5つの方法の中でいちばん高い）
為替	入金・出金ともUSDと円の換算が入ります。レートは処理時点のもの
銀行側の手数料	ご利用の金融機関で振込手数料がかかる場合はお客様負担。EBC側は無料
着金までの日数	公式の案内は「1～7営業日」（別の記事では最短1～最大3営業日）。銀行により異なります
利益分の受け取り	国内銀行振込で入金した方は、利益分もそのまま同じ口座に出せます

「700 USD未満しか残っていない」とき

国内銀行振込では申請できません。利益分であればPeska（最低50 USD）や暗号資産（最低50 USD）で出金できます。元本分は入金と同じ方法が原則なので、少額で試すなら最初からPeskaカードを使うのが確実です。

画面で確認 ―― 国内銀行振込（左2枚が入金、右2枚が出金）

画面はEBC公式ヘルプセンターの掲載画像。実際の表示は更新で変わります



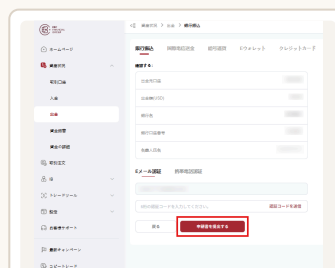
1 資産状況→入金→銀行振込。受付時間外は選択肢が出ません



4 振込先は「コピー」ボタンで写す。右上がカウントダウン



2 初回は受取口座を登録（名義はカタカナ）



4 認証コードを入れて「申請書を提出する」

カード入金 Mastercardのみ／50～5,000 USD／反映 30分以内

- 1 マイページ → 「資金状況」 → 「入金」 → 「クレジットカード」
入金チャンネルは「Credit/Debit Card」。右側の注意事項を読んでから「入金する」。
- 2 決済ページでワンタイムパスワード（OTP）を入力
スマホや銀行アプリに届きます。カードの3Dセキュアが有効でないと、この画面に進めません。
- 3 「Operation Successful」と出れば完了
確認画面が出ない場合はブラウザのポップアップブロックが原因のことが多いです（→6ページ）。
- 4 初回だけ：カード両面の写真を14営業日以内に提出
写すのはカード番号の最初6桁と最後4桁・名義だけ。CVV（裏面の3～4桁）は必ずテープなどで隠す。カラー写真で。宛先はcs.jp@ebc.com またはマイページ。期限内に出さないとログインが制限されます。

ナンバーレスカード・バーチャルカードの場合は、カード名義・番号の最初6桁と最後4桁・EBCへの入金額と日付が分かる利用明細のスクリーンショットで代用します。一度認証したカードは、次回から提出不要です。

カード出金 入金額までのみ／着金 3～5営業日

- 1 「資金状況」 → 「出金」 → 「クレジットカード」
初回は「+新しい銀行カードを追加する」で名義とカード番号を登録して「保存する」。
- 2 出金元口座・カード・出金額を入力して「次へ」 → 認証コード → 「申請書を提出する」

カードでいちばん多い誤解

- ・ 利益分はカードに出せません。カードへの出金は「入金した金額まで」の返金扱い。利益分はPeska・暗号資産・国内銀行振込・国際電信送金のいずれかで出金します。
- ・ 使えるのはMastercardだけです（2026年9月29日のヘルプセンター更新）。Visa・AMEX・第三者名義のカードは使えません。ご本人名義なら複数のカードを使えます（それぞれ初回認証あり）。
- ・ カード会社によっては海外加盟店の決済が制限されていることがあります。エラーが続く場合は別のカードか別の方法を。

Peska入金 日本円 → USD／反映 通常 数分

- 1 先にPeskaの口座を作り、本人確認と住所証明を済ませ、日本円を入れておく
登録はpeska.co から。住所証明が「承認済み」でないと入金が失敗します。Peskaへ振り込むときは、振込名義欄にPeska口座番号＋ローマ字氏名を入れると自動反映されます。
- 2 EBCマイページ → 「資金状況」 → 「入金」 → 「Eウォレット」
通貨はJPY、金額はUSD単位で入力（Peskaで円を払い、USDで口座に入ります）。
- 3 「入金する」 → ポップアップでPeskaにログイン → 画面に従って送金
送金先に「EBC」と円の金額が出ます。メールまたはSMSの6桁コードを入れて「今すぐ送金」。
- 4 15分たっても反映しなければ連絡
DPで始まる注文番号・登録メールアドレス・Peskaの取引履歴の3点をcs.jp@ebc.comへ。

換算レートはPeskaのトップページ「為替レート」の「買い」のレート。Peskaの残高が足りないと「今すぐ送金」が押せません。

Peska出金 最低 50 USD／Peskaへの着金 約1営業日

- 1 「資金状況」 → 「出金」 → 「Eウォレット」 → 支払い方法「Peska」
- 2 初回は「新しいウォレットアドレスを追加する」
ウォレットタイプ＝Peska、通貨＝JPYで受け取るなら「JPY」、USDなら「USD」。名義人はEBC登録のお名前（漢字優先）、メールはPeskaの登録アドレス。
- 3 出金額をUSD（小数2桁まで）で入力 → 認証 → 「申請書を提出する」
JPYウォレットを選んで、入力はUSDです。

換算はPeskaの「売り」レート。Peska側の出金は月1回まで無料、2回目以降0.2%。Peskaの残高は速やかにご自身の銀行口座へ移すことを公式が勧めています。1～7営業日たっても着金しない場合は、WDで始まる注文番号と登録メールを添えて連絡。

日本円で利益を受け取りたい方は、この組み合わせ

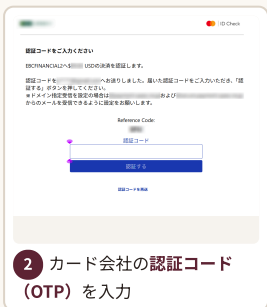
入金Peska（またはPeskaで少額を入れておく） → 出金先にJPYウォレットを登録 → USDで出金額を指定。Peskaに円で着金したら、ご自身の銀行口座へ移します。為替手数料・レートはPeska側の条件です。

画面で確認 —— カードとPeska

画面はEBC公式ヘルプセンターの掲載画像。実際の表示は更新で変わります



- 1 入金チャンネルは「Mastercard Only」と表示



- 2 カード会社の認証コード（OTP）を入力



- 4 初回の写真は番号の中ほどとCVVを隠す



- 3 Peska側の送金画面。送金先EBCと円の金額



- 2 Peska出金はJPYかUSDの財布を選ぶ

暗号資産 —— 使えるのは USDT (ERC20/TRC20) と USDC (ERC20)

EBC側の手数料は無料。ネットワーク手数料は送金側の負担

STEP 1

国内取引所で
暗号資産を買うXRP・ETH・BTCなど。国内取引所は
USDT/USDCを扱っていません

STEP 2

海外取引所へ送る

USDT/USDCを扱う海外取引所
(Binance・Bybitなど)の自分のウォ
レットへ

STEP 3

USDT/USDCに
換える海外取引所で換金。ネットワークは
EBCの入金画面に合わせる (TRC20 か
ERC20)

STEP 4

EBCへ送金

マイページの入金画面に表示されたア
ドレスへ。出金は逆の順番

入金の手順 反映：承認後 数分～30分

- 1 「資金状況」→「入金」→「暗号通貨」→入金チャネル
(例：TRC20) を選ぶ
入金先の取引口座と通貨を選んで「入金する」。
- 2 表示されたウォレットアドレスをコピー、またはQRコード
を読み取る
手入力はしない。アドレスは毎回変わることがあるので、必
ずその回の画面のものをします。
- 3 海外取引所側で金額を入れて送金 → EBCの画面で「確認」
「申請が提出されました」と出れば完了。「資金の詳細」で
状況を確認できます。
- 4 30分たっても反映しなければ、送金画面のスクリーンショッ
トを cs.jp@ebc.com へ

出金の手順 最低 50 USD/平日17時まで当日処理

- 1 「資金状況」→「出金」→「暗号通貨」
初回は「+新しい暗号通貨アドレスを追加する」で、通貨の
種類と受取アドレスを登録して「保存する」。
- 2 出金元口座・受取アドレス・出金額 (USD) を入力 → 「次
へ」 → 認証コード → 「申請書を提出する」
着金までの時間は経路によって異なります (目安 1～3営業
日)。

暗号資産で絶対に間違えてはいけないこと

- ・ ネットワークの取り違い：USDTはEthereum (ERC20)・Tron (TRC20) など複数のチェーンで発行されています。違うネットワークで送ると資金が失われることがあります。
- ・ アドレスの貼り間違い：誤ったアドレスに送った資金は回収できない場合があります。大口の前に少額でテスト送金を。
- ・ 古いアドレスへの送金：EBCの入金アドレスは変わることがあります。入金のたびに画面で確認します。
- ・ 最小送金額・送金先の対応状況：取引所側の最小額を下回ると失敗します。送金後はTXID (トランザクションID) で追跡できます。

ネットワーク手数料の目安 (公式の例)

TRC20	1 USD程度。安く速いので、USDTならこちらが一般的
-------	------------------------------

ERC20	2～5 USD程度 (混雑で変動)
-------	-------------------

取引所の手数料	国内・海外取引所それぞれの送金手数料と、換金時の価格差が別途かかります
---------	-------------------------------------

国内取引所でXRP等を買ってから海外取引所でUSDTに換える間に、価格変動による損益差が出ます (公式FAQ)。日本円で利益を受け取りたい方には、Peskaのほうが手順が短いです。

国際電信送金 —— 大口向け。銀行手数料と日数を見込んでおく

入金 1,000～200,000 USD/出金 1,000～100,000 USD

入金 反映 3～5営業日

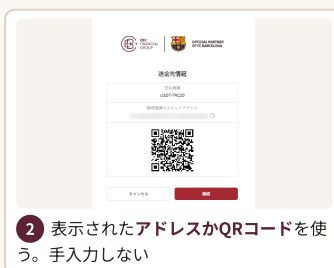
- ・ 「資産状況」→「入金」→「国際電信送金」。入金チャネル・通貨・送金方法を選び、金額を入力。「送金情報」の振替額が入力額と一致しているか確認。住所欄に郵便番号を忘れずに。
- ・ 表示された送金先へ銀行から送金 → 入金明細 (送金元名義・金額・日時・送金先が全部分かるもの) をアップロードして「入金する」。審査後、メールで通知。
- ・ Wiseからの送金は不可 (コンプライアンス上)。送金の摘要欄に「投資商品購入」などの言葉は使わない。振込名義は登録名義と一致させる。円など米ドル以外で送ると銀行の為替レートが適用されます。

出金 着金 約3～7営業日

- ・ 「資金状況」→「出金」→「国際電信送金」。初回は「+新しい銀行カードを追加する」で受取口座を登録 (ご本人名義のみ)。金額を入れて「次へ」→SMSまたはメール認証 → 「申請を送信」。承認されると通知メールが届きます。
- ・ 銀行の送金手数料は1回あたり約29 USDが目安 (銀行が請求するもので、固定ではない)。各暦月の1回目はEBCが負担、2回目以降はお客様負担。米ドル以外で受け取る場合は為替手数料も。
- ・ 日本円の口座 (SWIFT) で受け取ることもできます。為替レートは送金元のルールに従い、手数料はお客様負担。

画面で確認 —— 暗号資産と国際電信送金

画面はEBC公式ヘルプセンターの掲載画像。実際の表示は更新で変わります



1

申請

マイページ「出金」から方法・受取先・金額（USD）を入れて認証コード→提出

2

凍結

申請額は口座内で凍結。「資金の詳細」にWD番号が出て、ステータスは「処理中」

3

EBCの処理

平日17時（日本時間）までの申請は最短で当日中。17時以降は翌営業日

4

送金

銀行・カード会社・ウォレット側の処理へ。ここからは各社の営業日で進む

5

着金

ステータスが「送金済み」に。WD番号は消えないので、あとから照会できる

方法別の目安（公式記事の記載をそのまま）

方法	最低出金額	着金までの目安	手数料・条件
国内銀行振込	700 USD	1～7営業日（別記事では1～3営業日）	銀行側の振込手数料はお客様負担。同一名義・同一金融機関の口座へ
カード	100 USD	3～5営業日（別記事では最大7営業日）	入金額まで。利益分は不可。同じカードへ
Peska	50 USD	Peskaへ約1営業日以内	Peska側で月1回無料、2回目以降0.2%。JPY/USDウォレットを選ぶ
USDT/USDC	50 USD	1～3営業日（経路による）	ネットワーク手数料は受取側の条件。同じネットワークへ
国際電信送金	1,000 USD	3～7営業日	銀行手数料 約29 USD（当月1回目はEBC負担）。上限100,000 USD

公式記事どうして日数の幅が少し違うため、両方を載せています。ご自身の銀行の実績が分かるまでは、長いほうで見込んでおくのが安全です。

「入金した方法と違う方法で出したい」ときの考え方

入金した方法	元本の出金	利益分の出金
カード	同じカードへ	カード以外のどれでも（Peska・暗号資産・国内銀行振込・国際電信送金）
暗号資産	同じネットワークへ	どれでも可
国内銀行振込	同一名義の国内口座へ	どれでも可
国際電信送金	同一名義の海外口座へ	どれでも可
Peska	同一名義のPeskaへ	どれでも可

公式の例：暗号資産50ドル＋Peska50ドルを入金し、利益20ドルが出た（残高120ドル）

NG：Peskaだけで120ドルを申請 → 元本の出し方が違うので拒否。正しくは、Peskaで50ドル・暗号資産で50ドル（元本）を出し、残り20ドル（利益）はPeska・暗号資産・国内銀行振込・国際電信送金のどれかで出します。

ポジションを持ったまま出金するときの条件

- 平日：出金額を引いたあとも証拠金維持率が200%を超えていること。200%以下になる申請は処理されません。
- 週末（金曜の引け後～月曜のオープン前）：400%以上。週明けの窓開けに備えた措置で、内部振替にも適用されます。
- リスク管理部門が「出金でロスカットのおそれがある」と判断した申請は拒否され、決済後に改めて申請できます。

証拠金維持率＝有効証拠金÷必要証拠金。EBCのロスカット水準は30%です。数字に迷うときは、全部決済してから出すのがいちばん確実です。

同じ名義の口座間で資金を動かす（内部振替）

「資金管理」→「資金振替」で、振替元・振替先の取引口座と金額を入れて確認。**手数料無料・即時・回数制限なし**。MT4口座とMT5口座の間でも使えます。「資金の詳細」とホーム画面で反映を確認します。

申請を取り消したいとき

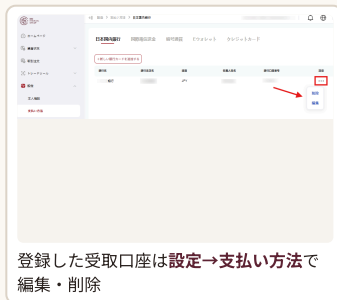
まだ承認されていない出金申請はキャンセルでき、資金は申請した取引口座に自動で戻ります。承認後は取り消せないで、金額と受取先は提出前に確認してください。

注文番号の見方

- DPで始まる＝入金。振込・送金をしないまま「処理中」が3営業日ほど続くと、自動的に非表示になります（あらためて申請できます）。
- WDで始まる＝出金。着金まで「処理中」、着金で「送金済み」。自動で消えることはありません。
- 問い合わせるときは、この番号と登録メールアドレスを添えると早いです。

画面で確認 —— 出金のあと・内部振替

画面はEBC公式ヘルプセンターの掲載画像。実際の表示は更新で変わります



入金反映されないとき——待つ時間と、連絡に添えるもの

方法	ここまで待つ	連絡するときに添えるもの
国内銀行振込	2時間	振込明細（氏名・入金先・金額・日時）+ DP番号
カード	30分	DP番号（マイページ＞資金管理＞資金の詳細）
Peska	15分	DP番号+登録メールアドレス+Peskaの取引履歴
USDT／USDC	30分	送金画面のスクリーンショット（TXIDが分かるもの）+ DP番号
国際電信送金	5営業日	送金先銀行名・口座番号・登録氏名・送金日時が入った送金証明

宛先はどれも、EBC公式LINE または cs.jp@ebc.com。スクリーンショットは氏名・金額・日時が読める大きさを。

連絡先

EBC公式LINE	検索ID @ebc_japan。日本チームが対応（平日）。スクリーンショットを添えると早い
メール	cs.jp@ebc.com（日本チーム）。書類の添付や複雑な相談はこちら
ライブチャット	ヘルプセンター（support.ebchelp.com/hc/ja-jp）の右下。急ぎ・簡単な質問向け。離席中ならメールで返答
対応時間	日本チーム：平日 8:00～24:00。グローバルチーム：平日24時間・土日は23時まで（翻訳ツール対応）
担当者	この資料をお渡しした営業担当にも、いつでもご連絡ください

入出金が「失敗」「拒否」になる理由は、ほぼこの4つ

- ご本人以外の名義で入出金した**
ご家族名義の口座・カードは使えません。第三者からの資金と疑われると、確認が済むまで残高が凍結されます。
- 元本を、入金と違う方法で出そうとした**
例：国内銀行振込で入金して暗号資産で出金。元本分は同じ方法でしか出せません（→5ページ）。
- 受取先の情報を間違えた**
口座番号・支店名・ウォレットアドレス・ネットワーク。登録した受取先は「設定」＞「支払い方法」で確認できます。
- カードや銀行口座が凍結・異常状態**
カード会社の海外決済制限や、銀行側の利用制限。別の手段を試すか、各社に確認します。

入金画面のポップアップが出ない（Peska・カード・暗号資産）

ブラウザのポップアップブロックが原因のことがほとんどです。

Chrome：設定→コンテンツの設定→ポップアップのブロックをオフ。

Edge：設定→Cookieとサイトのアクセス許可→ポップアップとリダイレクト。**Safari (iPhone)**：設定→アプリ→Safari→「ポップアップをブロック」と「詐欺Webサイトの警告」をオフにして再起動。それでも出ないときは、別のブラウザ・別の端末で。**未完了の入金申請を何度も作るとリスク管理でブロックされることがあるので、数分待ってから再度試します。**

よくある質問

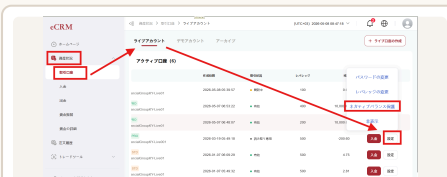
- 土日に出金申請できますか？** 申請はいつでもできます。処理は翌営業日から。着金は各金融機関の営業日で進みます。
- 入金の上限は？** 方法によって違い、カードは5,000 USD、国際電信送金は200,000 USD。国内銀行振込・Peska・暗号資産は入金画面の注意事項が正です。
- 残高がマイナスになったら？** 追加証拠金の請求はありません（ゼロカット）。-1,000 USD～0 USDの範囲なら、マイページ「ネガティブバランス保護」から**ご自身でゼロリセットを申請**します（1時間に1回）。**マイナスのまま入金すると相殺されるので、先にリセットを。**
- 「読み取り専用」と表示されて取引できない入金前の取引口座はこの状態です。** 入金反映されると「有効」に変わります。変わらないときは再ログインか、口座番号を添えて連絡。
- 出金の記録は残りますか？** 「資金の詳細」にWD番号つきで残ります。確定申告用の年間の損益は、MT4／MT5の口座履歴から出します。

先にお伝えしておきたいこと

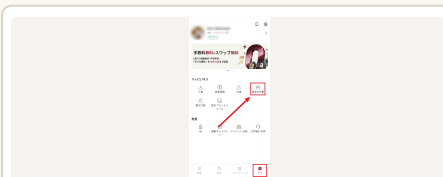
- EBCは日本の金融庁の登録を受けた金融商品取引業者ではありません。** 国内業者向けの投資者保護の枠組みは適用されません。
- EBCがメール・チャット・電話で**パスワードや認証コードを尋ねることはありません。** 「入金用リンク」「ボーナス案内」を非公式の連絡先から受け取ったら、開かず cs.jp@ebc.com へ確認してください。
- 取引には損失のリスクがあります。レバレッジにより、預けた証拠金を上回る損失が生じる可能性があります。

画面で確認——残高がマイナスになったとき

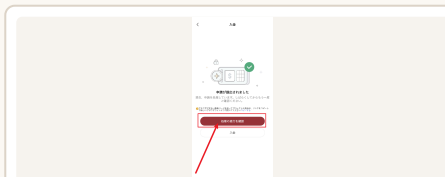
画面はEBC公式ヘルプセンターの掲載画像。実際の表示は更新で変わります



ゼロリセット：取引口座の一覧から該当口座の申請ボタンへ



スマホのマイページ。入金・出金・資金の詳細はここから



申請が通ると「申請が提出されました」と表示